

令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和4年度事業報告

(一般社団法人 長野県自動車販売店協会)

【事業総括】

令和4年度は、国外では、昨年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻は、力による現状変更に対抗する欧米諸国の支援を受けるウクライナの抵抗により、戦争は長期化の様相を呈するとともに、戦争の影響で、国際市場における穀物や飼料、液化天然ガス等の高騰を招いた。また、新型コロナウイルス感染症の世界規模の感染拡大が続く中、各国ではウイズコロナ政策へ徐々に方向転換が行われたが、中国では引き続きゼロコロナ政策により上海等が都市封鎖され、サプライチェーンの停止等世界経済に影響を与えた。なお中国では、12月に突如ウイズコロナ政策への大転換を図ったが、その要因は長引く都市封鎖に対して全国各地で起こった抗議活動がきっかけとも言われている。

一方国内では、新型コロナウイルスの感染拡大が1月には第6波、7月からは第7波が襲い、8月19日には新規感染者が261,607人と過去最高を数えた後、徐々に減少しながらも再び増加に転じ12月には第8波へと続いたが、政府では大きく落ち込んだ観光需要喚起策として10月から全国旅行支援を開始した。また令和5年度税制改正においては、エコカー減税が3年延長されたほか、厳しい物価高と新車の納期長期化に対応するため、エコカー減税及び環境性能割について現行の税率区分が本年12月末まで据え置かれた。

自動車産業においては、サプライチェーンの寸断や、半導体不足の影響を受け、長らくメーカーにおける生産調整が行われたことにより、販売は堅調であったが受注残が大量に発生している状況が続いてきたが、昨秋以降徐々にではあるが生産調整も改善されはじめた。

その結果、今年度における新車販売台数は、全国で登録車と軽を合わせ、前年対比4%増の441万781台と4年ぶりに前年度を上回った。

また長野県でも、登録車の新車販売台数が47,889台と前年対比3.2%増という状況となった。

このような情勢の中、協会としては特に新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、「地域環境に優しい安心な街づくり」と「快適な交通事故のない安全で明るい街づくり」の推進を基本方針に、関係行政機関をはじめ関連団体等と緊密な連携を図りながら事業活動の推進に取り組んだ。

協会事業の具体的な推進内容・実施結果等については、次頁以下のとおりである。

第1 消費者問題に対する調査支援事業

(1) ユーザーの意見を聞く懇談会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、開催を中止とした。

(2) 交通安全・環境保全・自動車販売等に関するアンケート調査事業(1,000人アンケート)

自動車販売、点検整備、次世代自動車、防犯対策、交通安全、環境に関する要望・意見について、令和4年9月から11月の間、県下各販売店に来店したユーザー1,000人を対象にアンケートを実施した。なお、令和4年度より紙からWEB調査への切り替えを行い、利便性の向上を図った。

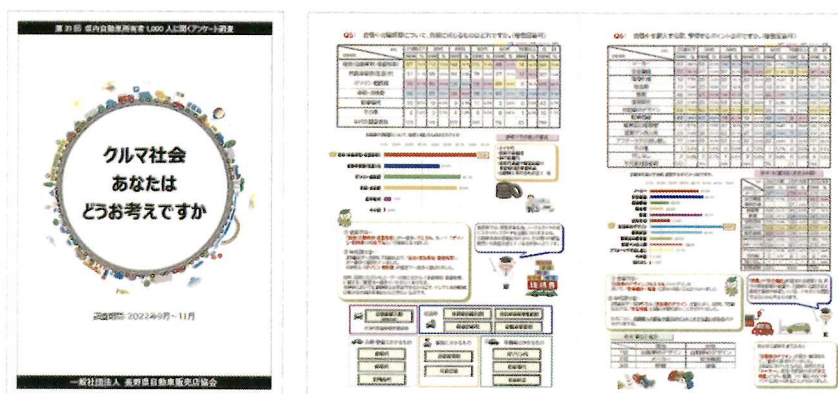
＜結果概要＞

回答者数は750名、うち男性66.3%、女性31.3%、未回答2.4%で、年代別の回答者では、40代の回答者が最も多く30.0%、次いで50代、30代の順に回答者が多かった。

自動車購入等に関するものでは、「自動車のデザイン」を重視する人が63.9%でトップを占め、次いで「安全機能」「燃費」の順となった。年代別では、50代以下が「自動車のデザイン」、60代以上が「安全機能」を重視するという結果となり、年代によって購入時のポイントが分かれる結果となった。

自動車を購入する際どこから情報を入手するかとの問いでは、「営業マンからの説明」が58.3%で最も多く、次いで「インターネット」「テレビ(CM)」の順となった。

回答状況と分析結果を資料として取り纏め、会員社や関係団体等へ配布するとともに、協会ホームページに掲載した。



回答結果資料

第2 交通安全と福祉増進並びに教育振興支援事業

(1) 交通弱者を対象とした交通安全教室の開催

交通安全教室の開催は、大切な命を悲惨な交通事故から守り、安全で快適な生活を送るための支援活動の一環として、協会が委嘱した特別交通指導員6名により、保育園、小中学校等からの要望に基づき計画的に実施した。

① 対象別回数・受講者数

計89回開催 10,531名受講 (感染拡大による中止:5回)

対象	開催数	シェア	受講者数	シェア
園児	42回	47.2%	2,693名	25.6%
小学生	18回	20.2%	6,589名	62.6%
中学生	3回	3.4%	364名	3.5%
高齢者	24回	27.0%	825名	7.8%
一般	2回	2.2%	60名	0.6%
合計	89回		10,531名	

② 開催地

北信地域	16箇所	東信地域	47箇所
中信地域	25箇所	南信地域	1箇所

③ 開催概要

園児には、『楽しみながら命の大切さと事故の恐ろしさを学ぶ』をモットーに、交通ルールやチャイルドシートの必要性などを伝えた。

小中学生には、ダミー人形を使用しての衝突実験や車の死角や内輪差について身をもって感じるができる体験型安全教室の実施に努めた。

高齢者には、高齢者事故が増加していることから、交通事故の被害者と加害者の両面から見た事故防止について、腹話術や寸劇を通じ、交通ルールを再認識できる内容で実施した。更に、多発する「特殊詐欺（電話でお金詐欺）」に遭わないため、寸劇等を通じ被害予防の意識付けにも努めた。



交通指導員による腹話術



ダミー人形を使用した衝突実験

(2) 交通事故防止を図るためのセーフティアドバイザーの育成と「ふれあいコーナー」の活用

① セーフティアドバイザー研修会の開催（6月）

セーフティアドバイザーの交通安全意識の高揚と活動の活性化を図るため、県内2か所で研修会を開催した。感染対策の一環で密を避けるため、両会場共、午前と午後の2回に分けて開催した。

会場	中南信会場	東北信会場
開催日	令和4年6月21日（火）	令和4年6月24日（金）
参加者数	午前：52名 午後：32名	午前：60名 午後：27名
講師	長野県警察本部交通部交通企画課 担当者 長野県交通事故相談所 所長 日本自動車連盟長野支部 担当者	



中南信会場



東北信会場

② 「ふれあいコーナー」の設置

協会機関紙「NADA MAGAZINE」及び県警本部から提供される交通事故統計資料を全会員社へ情報提供した。会員社では、「ふれあいコーナー」の活用などにより、従業員や来店者等に対する交通事故防止に向けた指導・啓発資料として活用した。

(3) 全国交通安全運動等における交通安全街頭指導活動の推進

① 街頭指導活動の積極的参加

春・夏・秋・年末の年4回の交通安全運動期間中の一斉街頭活動は、コロナ禍により多くは中止となったが、実施した地区では街頭指導所において、地区流合委（大型車部会含む）が、関係警察署並びに各地区交通安全協会等と連携をとりながら交通安全の啓発活動に従事した。

② 街頭活動実施回数

出動人員 延べ 15箇所 168名

春	4箇所：47名	夏	3箇所：32名
秋	4箇所：53名	年末	4箇所：36名

③ 啓発用品の配布

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、配布品は無しとした。

④ 新聞広告等による啓発活動

年4回の交通安全運動期間を中心に、啓発活動に努めた。

4月	信濃毎日新聞、中日新聞、日刊自動車新聞	計4回
7月	信濃毎日新聞、日刊自動車新聞	計2回
9月	信濃毎日新聞、中日新聞、日刊自動車新聞、長野日報	計4回
11月	信濃毎日新聞	計2回
12月	信濃毎日新聞、長野朝日放送（テレビCM・駅前ビジョン）	計2回
2月	信濃毎日新聞	計1回

(4) 特別交通指導員研修会の開催

交通安全教室に携わる特別交通指導員及び協会従事者の知識・技術の向上を図るため、各種研修会への積極的な参加に努めた。

① 特別交通指導員研修会

主 催：一般社団法人 長野県自動車販売店協会

開催日：令和4年4月4日（月） 参加者数：12名

令和5年3月27日（木） 参加者数：7名

② 関東甲信越ブロック交通ボランティア等研修会

主 催：内閣府

開催日：令和4年11月9日（水） 参加者数：2名 ※オンライン開催

③ 令和4年度交通安全教育指導者研修会

主 催：一般財団法人 日本交通安全教育普及協会

開催日：令和5年2月9日（木） 参加社数：1名 ※オンライン開催

④ 令和4年度チャイルドシート指導員養成研修会

主 催：一般財団法人 日本交通安全教育普及協会

開催日：令和5年3月23日（木） 参加者数：4名 ※オンライン開催

（５） 安全運転サポート車（サポカー）体験会の支援

高齢者ドライバーによる交通事故の割合が増加していることを受けて、長野県警やシニアクラブと連携し、会員社の協力により、交通事故防止効果の高い安全運転サポート車の先進安全技術を体感できる「サポカー体験会」を実施した。

<開催状況>

申込件数	41 件	参加人数	663 名
実施	35 件	中止	6 件

※ 北信運転免許センターにおいて、7月から12月にかけて定期的にサポカー体験会を実施。（実施回数10回、参加人数177名）



サポカー体験会の様子

（６） 自動車点検整備の推進

① 高齢者・女性を対象とした安全運転、車両点検教室の開催

近年、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となっていたマイカー点検教室を、3年ぶりに飯山市において開催した。サービス部会高水地区委員会の協力のもと、飯山市文化会館（なちゅら）で午前10時から午後3時半まで、63組の参加があった。同会場では他のイベントも開催されており、終始賑わいのある点検教室となった。

② 長野県自動車適正使用・点検整備推進協議会に対する協力

「不正改造車を排除する運動」の取り組みについての会議は、コロナ禍により中止

となったが、啓発用ポスター並びにパンフレットを会員社へ配布し、啓発に努めた。

③ 自動車整備人材確保・育成地方連絡会に対する協力

令和5年2月、自動車整備人材確保・育成地方連絡会に出席し、令和4年度の高等学校訪問（6校）の結果、令和5年度の取り組みについて確認・検討をした。

（7） 交通事故ゼロ活動並びに教育振興活動への支援協力

① 長野県主催の「交通事故ゼロチャレンジ」事業への参加・協力

「2022高校生交通安全CMコンテスト」は、7月から9月に応募のあった9校29作品（テレビ部門16作品、ラジオ部門13作品）を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年の会場審査ではなく、収録したDVDにより審査した。

入選作品には表彰を行うとともに、各部門の上位入賞作品はSBC（信越放送）を通じて交通安全スポットCMとして放映される。

＜グランプリ作品＞

テレビ部門	長野高校	「 命のヘルメット 」
ラジオ部門	大町岳陽高校	「 反射板 」

② 公益財団法人日本自動車教育振興財団への支援・協力

長野県自動車教育推進協議会の事務局として、振興財団が行う各高校を対象とした自動車技術、社会教育を推進する事業活動への支援を行い、令和4年11月には自動車技術教育を実施する県内の高校4校に対する教育用教材の贈呈式を開催した。

今年度は、長野工業高校（定時制）にCD教材、上田千曲高校に実習用工具セット、駒ヶ根工業高校に分解組立用エンジン、飯田OIDE長姫高校に燃料電池キットの提供を行った。

③ 長野県高齢ドライバー運転事故防止関連対策懇談会への参加・協力

令和2年に策定された「長野県高齢ドライバー運転事故防止関連対策指針」に基づき、安全運転サポート車、安全運転支援装置等の普及促進に向け、会員社の協力によりサポカー体験会を継続的に実施しており、今後の施策見直しに向け、令和4年12月に実施状況等について報告した。

④ シートベルト・チャイルドシート100%着用に向けた啓発活動の強化

交通安全教室開始時に、園児や園職員及び保護者を対象としたシートベルト・チャイルドシート装着講習を42回実施。更に着装に関するチラシ等を配布した。

第3 防犯活動と環境保全助成事業

（1） 地球環境保全活動への参加・支援

地球温暖化防止運動や循環型社会形成に向けて取り組む「信州豊かな環境づくり県民会議」、「長野県キッズISOプログラム事業」、「一般社団法人長野県環境保全協会」、「公益財団法人長野県緑の基金」、「信州の屋根ソーラー普及検討会」の活動を支援する形で助成活動に取り組んだ。

(2) 長野県主催「信州環境フェア」、「南信州環境フェア」への参加・協力

① 信州環境フェア2022

新型コロナウイルス感染症対策等の観点から、令和2年度は中止、令和3年度は規模縮小により参加を見送ったが、令和4年度は9月30日（金）・10月1日（土）の2日間、長野市芸術館及び市民交流スペース、桜スクエアを会場として3年ぶりに会員社7社の協力を得て、合計8台のエコカーを展示した。

② 南信州環境メッセ2022

令和4年11月5日（土）・6日（金）の2日間、飯田市座光寺のエス・バードを会場として、会員社7社の協力を得て合計14台の次世代自動車を展示し、敷地内で試乗を行い、環境に配慮した車の仕組みや災害時の非常用電源としての活用等、来場者に次世代自動車の魅力をアピールした。



信州環境フェアの様子



南信州環境メッセの様子

(3) 安全で環境に優しいクルマの普及を推進する啓発活動

① 信州環境フェア、南信州環境フェア等のイベントへ環境に配慮した次世代自動車を出展したほか、県警やシニアクラブと連携して県下全域でサポカー体験会を開催した。

② 協会ホームページに、「ASV（先進安全自動車）の種類と特徴」、「エコドライブの実践方法」等を掲載し、安全かつ環境に優しい自動車の普及宣伝に努めた。

(4) 環境問題対策並びに環境保全活動の支援

① 環境に優しい優良自動車整備事業場表彰は、令和4年11月8日（火）、ホテルメトロポリタン長野で開催され、会員社2社18事業場が北陸信越運輸局長野運輸支局長表彰を受賞した。

② 春季・秋季における環境美化活動では、長野県が主唱する信州環境美化運動キャンペーン（地域クリーン作戦）に参加し、地域の環境美化に努めるとともに環境美化活動の輪を広げるための啓蒙活動に取り組んだ。

春季実施 期間：令和4年5月29日（日）～6月30日（木）

参加団体 会員：20社・271拠点・3,127名

秋季実施 期間：令和4年10月1日（土）～10月31日（月）

参加団体 会員：15社・255拠点・3,361名

春季・秋季共に、長野県自動車販売店協会、日本自動車査定協会長野県支所、長野県自動車販売店健康保険組合、日本自動車連盟長野支部、長野県中古自動車リサイクルセンターの職員も参加した。

③ 整備工場等の環境整備対策の支援（自主監査の実施）

第41回を迎えた指定自動車整備事業場の自主監査事業では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施が危惧されたが、サービス部会委員を中心に、県内指定工場235拠点に対し監査を実施し、その結果を第3特別委員会が取り纏め、各社サービス部長及びサービス部会地区委員長宛に文書にて報告を行った。

（5） 使用済自動車等のリサイクルによる循環型社会形成の実践

① 長野県中古自動車リサイクルセンターを軸に、循環型社会の形成を目指し、各組合員との連携強化の下、使用済自動車入庫促進に努め、使用済自動車のフロン回収、解体並びに処理部品の再利用化に向けた取り組みを行った。

② 自動車リサイクル法の主旨に則り、これを忠実に実行している長野県中古自動車リサイクルセンターは、その基本理念である『環境保全、安全と効率、公害防止』を最重点にリサイクル率100%を目指し、自動車リサイクル法を始めとした各種法令の遵守を基本に、広く県民に対し廃棄物の適正処理とリサイクルの有益性について広報・啓発活動を実施した。

③ 令和4年度における施設見学者は、新型コロナウイルス感染予防の観点から見学申し込みが著しく減少するも、長野トヨタ自動車株式会社SDGs推進室並びに法人営業部様をはじめ、長野自動車部品販売店協会様、東御市、上田市を中心とした小学校4年生・5年生等、総勢10組224名の見学があり、創業以来1,004団体、10,921名の見学者となった。



リサイクルセンター外観



施設見学の様子

（6） 事業所防犯・暴力追放啓発活動の支援

① 不当要求防止責任者講習会の開催（9月）

会員社において、自動車販売をめぐる反社会勢力からの不当要求行為に適切な対応が図れるよう、各社の不当要求対応責任者による講習会を実施した。出席者には「受講修了書」と「不当要求防止責任者の選任事業所」の証明書を交付した。

会場	東北信会場	中南信会場
開催日	令和4年9月8日（木）	令和4年9月9日（金）
参加者数	午前：77名 午後：65名	午前：53名 午後：59名
講師	長野県警察本部刑事部組織犯罪対策課暴力団排除推進室 担当官 長野県弁護士会民事介入暴力対策委員会 所属弁護士3名 (公財)長野県暴力追放県民センター 事務局長	



受講者へ「受講修了書」と「選任済之証」を交付

② 犯罪・暴力のない社会環境作りに寄与するための支援

地域社会の防犯活動や暴力追放啓発活動に尽力している「公益社団法人長野県防犯協会連合会」、「公益財団法人長野県暴力追放県民センター」に対する助成のほか、会員社における自主防犯活動、暴力追放運動に対する啓発活動に努めた。

③ 長野県自動車盗難等防止対策連絡会議への参画

令和4年9月に開催された連絡会に出席し、自動車に関する盗難の発生実態について情報共有したほか、令和4年8月には県内で連続発生した自動車盗難事件について連絡会議事務局からの情報提供を受け、会員社に防犯対策等被害防止を呼び掛けた。

第4 オートオークション事業(収益事業)

(1) オートオークション事業を運営する会議の開催

① 中古車部会の開催

令和4年9月15日(木)に予定されていた中古車部会は、協会職員の新型コロナウイルス感染者増加により中止し、書面会議として開催した。

② 中古車部会並びにオートオークション実行委員会合同会議の開催

令和4年12月16日(金)にホテルメトロポリタン長野で開催し、中古車フェア事業計画、令和5年度オートオークション開催計画等について検討した。

(2) オートオークションの開催

① 開催回数 9回(令和4年8月～9月については、コロナのため中止)

② 開催概要 令和4年4月～令和5年3月

項 目	令和4年度	令和3年度	対 前 年 比
開 催 回 数	9回	7回	128.6%
出品台数(平均)	223台	217台	102.8%
成約台数(平均)	213台	205台	103.9%
成 約 率(平均)	95.7%	94.5%	+1.2%
総売上高(平均)	39,396千円	45,027千円	87.5%
台当単価(平均)	185千円	220千円	84.1%
参加人員(平均)	93人	99人	94.0%
評価点(平均)	2.38点	2.51点	-0.13点

③ 開催総括

新型コロナウイルス感染拡大により2回中止となったものの、昨年度より2回増の9回開催した。成約率は毎回90%以上で推移し、11月開催の第409回では、過去最高の98.6%を記録した。

実施7年目の「スターコーナー」では、今年度の出品台数は75台、成約台数は56台、成約率が74.7%、総売上高が41,690千円となった。

ディーラー出品の利点を活かし、会員社・協会双方にとって有益なオークションとするため、引き続き質の高い運営に努めていく。

(3) コンダクター等研修会の実施

コンダクター：6名 研修会回数：9回

オークションの成約率を高めるため、コンダクターの技術向上に向けた研修会を継続的に開催した。



出品車両



セリの様子



(4) オートオークションシステムの構築

NDAA 業務において、出品・落札・請求・統計等で使用するデータを一元管理し、円滑に業務を進めていくため、NDAA 業務のシステム構築とWEB化を進め、業務改善を行った。

令和4年度では、主に出品社作成の出品車両の詳細情報、出品リスト、精算書、請求書、統計資料等のデータを一元管理し、手入力で行っていた作業の効率化を図り、5月に導入・運用を開始した。

(5) 中古車フェアの開催

自販連長野県支部と共催の「信州カーディーラー中古車フェア」は、運営効率及び運営コストを考慮し、継続的に実施できるよう、会場型は長野開催・松本開催を1年ごとの交互開催とし、併せて県下全域での店舗型も開催する会場型・店舗型ハイブリッドの中古車フェアを開催した。

開催日：令和4年7月9日（土）・10日（日） 2日間

会場開催：信州スカイパーク やまびこドーム

参加社数：9社 展示台数：140台 成約台数：45台

店舗開催：県下全域店舗

参加社数：15社・81店舗 総展示台数：1,600台 成約台数：149台



会場開催の様子



店舗開催の様子

